

論文概略

論文タイトル	Qualitative assessment of Tongue Drive System by people with high-level spinal cord injury
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development
巻号項	Volume 51 Number 3 Page 451 - 466
出版年	2014 年
支援機器	Tongue Drive System(TDS)
分類(ISO9999)	24：操作用具
試験相	第4相試験
研究仮説(目的) の概要	重度の障害を持つ人々が舌の動きを使用して環境を制御できるようにする、低侵襲、無線、および装着可能な支援技術である Tongue Drive System (TDS) について、その使いやすさを高レベル脊髄損傷者によって定性的に評価すること
研究デザイン	対照なし試験
障害・疾患	脊髄損傷
対象者・数	障害者 11 人
主要アウトカム	質問票 (PPSQ : poststudy system usability questionnaire、ASQ : after-scenario questionnaires)
副次アウトカム 1	
副次アウトカム 2	
副次アウトカム 3	
副次アウトカム 4	
副次アウトカム 5	
統計学的検定	その他
結果の概要	検定項目が複数あり全てにおいて有意差があるといえない

論文整理番号 58 ※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」
支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究
(H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター